

えみちゃんレポート No21

茨城県政報告

【春号】



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだらえみこ)

住所 筑西市二木成993
電話 24-9119
FAX 48-8022

田植え、梨の花合わせなど新しい命を吹き込む季節が訪れました。茨城県では新しい販路を求め、米はアメリカに、梨はベトナム・カナダへと輸出がスタートします。

茨城県の農作物が力強く、世界にアピールできるよう、私自身も頑張っていこうと思います。

議会では、予算特別委員会、保健福祉委員会等に所属し、さらに、オリンピック、パラリンピックの気運醸成に力を注いで活動してまいります。



娘の桃が描いた絵です。

女性が働きやすい環境づくりについて

【設楽】平成29年度の予算編成では、

- ①保育士・幼稚園教諭・放課後児童支援員の処遇改善
- ②不妊治療の上乗せ補助
- ③3歳時未満の第2子保育料半額

①～③と待ち望んだ事業がスタートします。しかし、待機児童の解消も県民すべての願いです。多くのお母さんやご家族から以下の声が届いております。

「育休を半年のばしたのに、無認可しか駄目だった」
「第3希望まで入れず、空いているところがあるが、30分以上もかかりバスも来ない」

そこで、知事、保育所や放課後児童クラブの待機児童ゼロを目指すために、思い切った方向性を見出すべきと考えますが、知事のご所見を伺います。

【知事】市町村と連携をしてゼロをめざしてまいります。

【設楽】女性が働き続ける環境づくりのために、保育所、病児・病後児保育、ファミリーサポートセンターの**広域連携**を行うべきと考えます。たとえば、県や市を超えて仕事をしている場合に、住居地だけでなく勤務地での利用が可能となるように、他県との協定、また、各市の協定を結ぶための支援をしてほしいと考えます。

そこで、保育所・病児・病後児保育・学童・ファミリーサポートセンター等の広域連携を行うてほしいと考えますが、知事のご所見をお伺いします。

【知事】必要に応じて、連携できるように積極的にすすめてまいります。

○「待機児童ゼロは県民全ての願い。全ての働く女性が夢と希望を持ち続けられる取り組みを」。予算特別委員会で設楽詠美子氏（民進）は待機児童の解消を中心に、女性が働きやすい環境づくりを訴えた。県内の待機児童は過去5年間で最多の807人になる。「全ての女性が働くことを前提とするぐらいの計画を立てて、高まる保育ニーズに応える必要がある」と強調し、公設民営の保育施設を造るなど「思い切った方向性を見出すべき」と力を込めた。

（朝）

茨城新聞 平成27年3月22日



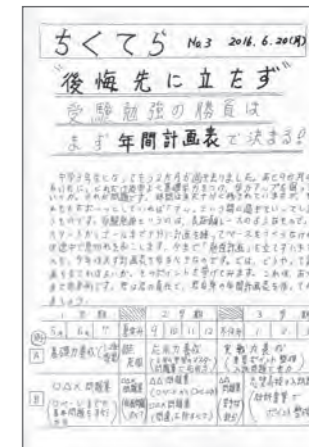
平成27年3月21日
予算特別委員会の質疑の様子

子どもたちの学習支援事業

【設楽】筑西市では昨年6月より**学習支援事業「ちくせい寺子屋」**がスタート。教員OB先生方を中心に、大きな愛で子どもたちを育て導いております。このような事業は、県内すべてでできるようにすべきと考えますが、現在の状況をお知らせください。

【石川福祉指導課長】茨城県では、平成29年度は**7市を除き学習支援事業が実施**されます。茨城県では、町村の事業を実施しており現在66名が参加しております。中学3年生11人のうち7名が希望する高校に合格したと報告があります。

【設楽】「すべての子どもたちが家庭環境に左右されることなく学べる茨城県これがみんなの願いです。」



筑西こども食堂「有りの実」大好きいばらき地方創成応援事業にて採択

「有りの実」は、お父さん、お母さんの仕事などで、こどもとゆっくり食卓を囲めない家庭を対象に、地域のおばちゃんたちが作る温かい軽夕食です。

4月よりスプーンおばさん（藤ヶ谷1083-2）に場所を移動して、皆さんのお越しをお待ちしています。（毎週月曜日・午後5時～7時）



「子どもの森づくり」

茨城県は、森林湖沼環境税を活用し**子どもの森づくり推進事業**を行っております。

筑西市では、**小栗小学校で「みどりの少年団」**を結成し、植樹を行ったり、古くなったアスレチックの整備を行いました。

「自然の中で、生き、生かされていることを胸に喜ばせていきたいと思います。」



子どもたちと植樹
平成29年2月21日

●**県政報告会、数人でも出かけます！** ご意見やご要望、ご相談がある方は下記までご連絡下さい。

しだらえみこ事務所 茨城県筑西市二木成993
TEL 0296-24-9119 FAX 0296-48-8022
Email: eshidara@peach.plala.or.jp
HP: http://www9.plala.or.jp/eshidara/

Facebook 更新中
しだらえみこ 検索

